

# 介護の経験を活かし、新しいチャレンジを。

人気アイドルグループ「おニャン子クラブ」の元メンバーで、女優や作家など、マルチに活動している新田恵利さん。多くの人の共感を呼んでいるお母様の介護や大病の経験を通し、家族の大切さや仕事への意欲についてうかがいました。



## タレント に っ た え り 新田恵利さん Eri Nitta

### Profile

昭和43年3月17日生まれ。埼玉県出身。アイドルグループ「おニャン子クラブ」の一員としてデビューし、人気を博す。女優、作家、エッセイストとしても活躍するほか、自身の介護体験をつづったブログが共感を呼んだことから、介護に関する講演やシニア向け食器の開発など多方面で活動中。

お母様の介護やご家族について教えてください。

テレビ出演や文筆活動など仕事に励む中、二世帯住宅で暮らしていた母が、平成25年の秋に圧迫骨折で入院したんです。入院している間に母の様子がどんどん変わり、とても焦りました。例えば、私が出演しているはずのないテレビ番組に私が出ていると言ったり、30年前に亡くなっている父の様子を尋ねてきたり……。このままでは大変だ！と、すぐに退院させたのですが、入院前は元気だった母が、自宅に着いたタクシーから、自分の足で降りることができない状態になっていました。兄と一緒に汗だくで2階へ運びました。このように、母の介護は突然始まったんです。

最初は大人用のおむつの替え方すらわからず、どんな行政サービスがあるのかも知りませんでした。市役所の方やケアマネジャーさんなどのおかげで少しずつ覚えていくことができました。その後、

訪問リハビリや訪問入浴など、必要な介護サービスを利用することができるようになり、一時期は私よりも母の方が忙しいくらいでした(笑)。

介護は兄や夫と助け合いながらやっています。兄は離れて住んでいたのですが、介護が必要になったことをきっかけに、母と同居するようになりました。介護が始まるまで、兄と母はそれほど接点が多いわけではなかったのですが、介護をきっかけにとっても仲良くなりました。兄は、夕方から夜にかけて飲食店で働いており、日中に仕事が多い私と交替で介護を担当してくれています。

夫も母の介護にはとても協力的です。私も兄もいない時には母の食事の用意をしてくれ、夫にはとても感謝しています。

仕事と介護を両立させるには、家族全員の協力で少しの妥協が必要です。仕事で誰もいなくなってしまう時は、温かいお茶を魔法瓶にいれて出かけるのですが、数時間後にはぬるくなってしまいます。

